

福島高教組第75回定期大会のご成功
を祝し、今後益々の御発展をお祈り申し
上げます。

元・福島高教組執行委員長
及川 利彌

福島高教組第七五回定期大会の開催、誠におめでとうございます。

常日頃からの組合員の皆様の御努力によるゆるぎない
ご発展に対し心から敬意を表します。

教員の働き方改革が叫ばれる中、皆様を取り巻く職場
環境はますます厳しさを増していることと存りますが、
不偏不党、是々非々のモットーの下、高校教育の充実発展
のため、引き続き力を發揮されますよう期待いたします
とともに、福島高教組の今後ますますのご躍進を祈念いたし
ます。

令和四年年六月一一日

元日本高等学校教職員組合

中央執行委員長 君島 整

福島県高等学校教職員組合

執行委員長 永井 國之 様

福島高教組第七十五回定期大会の開催、誠におめでとうございます。

昨今、教職員志望者の減少が話題となり、その背景には教職員の極めて多忙な勤務実態のあることが指摘されています。教職調整額四%は一ヶ月約五時間の残業時間に支払われる額に過ぎない、とあるネットには載っていましたが、事程左様に教職員は給与面でもやるせない状況にあります。こうした現状の改善のためには、文科省・人事院・県教委への働きかけを強めるべく組合の力が必要です。給与のみならず多方面にわたる勤務条件の改善のためにも、多くの教職員の組合加入と現場からの声の結集が望まれます。

昔、私が組合に加入した時、研修を通して他校の先生の学習指導や生徒指導の事例に接して目を覚ました思いを持ちますが、若い教職員にとつても視野拡大と自己成長を促す場となるのが組合です。こうした研修の場の提供などを通して、なんとか多くの先生方が福島高教組の旗の下に結集できますよう、強く念じてやみません。

教職員が安んじて教育に専念でき、生徒がそれに応じて成長する、それが当たり前の学校現場となるようにしかるべき給与と勤務条件とが実現されること、それに向けて組合員の先生方が結集なさった今大会のご盛会を衷心よりご祈念申し上げます。

令和四年六月吉日

元福島高教組執行委員長 新妻 健

福島県高等学校教職員組合 第七十五回定期大会のご盛会
誠におめでとうございます 心よりお祝い申し上げます

福島高教組の定期大会が連綿と続き 新型コロナウイルス感染症対策のため規模縮小とはいえ 一堂に会して開催されることは大変意義のあるものです

東日本大震災から十一年 本県の復興と再生に取り組む日々ですが 今こそ私たちは絆を強くし 子供たちに新しい時代を生き抜く力をはぐくむ教育を推し進め ワークライフバランスのどれた働き方を実践し実効あるものとする時です

永井國之執行委員長 小桧山淳書記長の新執行体制のもとご尽力いただいている執行部の皆様に感謝し 福島高教組の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます

令和四年六月吉日

元執行委員長 厚海 肇

祝詞

福島高教組第七十五回定期大会のご盛会誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

さて、教職員の取り巻く環境において、様々な課題が山積しております。そのようななか、何の意味もなかつた教員免許更新制が廃止されました。一方、教育現場では、未だに多忙化に歯止めがかからず、教員は日々の教育活動で苦難を強いられております。しかしながら、これまで貴高教組は、様々な難局を見事乗り越えてこられた歴史があります。今こそ、全ての組合員が一つとなり、今後も様々な難局を乗り越えられますとともに、貴高教組の益々のご発展と皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

令和四年六月吉日

日本高等学校教職員組合 元中央執行委員長 大出 建隆

福島県高等学校教職員組合第75回定期大会のご盛会、誠におめでとうございます。今次定期大会に至るまでの奮闘と地歩に、心からの敬意と感謝を申し上げます

大震災から11年目となる中、感染症拡大や教育格差をはじめとする困難な事態にあって、教育の可能性が問われています

学校現場の声と連帯を立脚点としつつ、教職員のあるべき処遇の確立と 本県高校教育ならびに特別支援教育振興へのご尽力にご期待申し上げるとともに、永井國之執行委員長のもと、執行部皆様の益々のご活躍を心より祈念申し上げます

令和4年6月吉日

福島県立磐城桜が丘高等学校
矢萩 滋

福島県高等学校教職員組合 第七十五回定期大会のご盛会、誠におめでとうございます

また、永井國之執行委員長をはじめ、福島高教組本部・執行部の皆様方の、日ごろよりの真摯なお取り組みに、心より敬意を申し上げます

さて、コロナ禍三年目、学校現場では、通常業務に加えたコロナ対応はもはや日常的となり、教職員の業務量は確実に増大しました。先行きの見えない状況への不安と閉塞感が感じられるこの現状を開するには、学校間を超えた組織的かつ社会全体での取り組みが重要になります

本大会に、一人でも多くの組合員の皆様からご意見を賜り、今後の組織運営につなげていただきたいと考えます。距離は離れていても、われわれの思いは同じ、教育環境の充実と教職員の待遇改善です今こそ、福島高教組に結集し、心をひとつに運動を展開していきましょう

結びに、福島高教組のますますの発展と、組合員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます

令和四年六月十一日

板倉 誠実